

男女共同参画の **視点**

意識から行動へ

～**男女が響き合うまち成田をめざして**～

男性も女性も人権が尊重され、その個性と能力が十分発揮できる社会の実現を目指して、市では「第2次成田市男女共同参画計画」を策定し、各施策に取り組んでいます。

今回は、昨年11月に実施したインターネット市政モニターによるアンケート調査の結果の一部を紹介します。回答者は211人、男女比は半々、年代は30～60代が中心でした。

問. 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか

半数以上が「同感しない」と答え、「同感する」は1割以下となっています。

問. 社会全体で見た場合、男女の地位は平等になっていると思いますか

80.6パーセントが「男性の方が優遇されている」と考えています。そのほかとして「責任や能力など見方による」「場面や活動による」などの意見がありました。

問. 男女平等な社会にするために、今後どのようなことが必要だと思いますか(複数回答可)

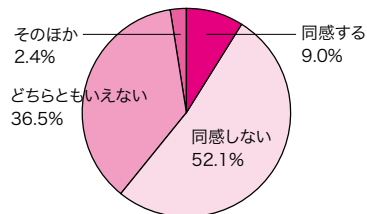
「男性が積極的に家事・育児に参加できるよう、働き方や制度を見直すこと」や「男性が女性の社会参加に理解を持ち、協力すること」などに多くの支持が寄せられました。

市では、これらの現状を把握し、また課題解決の諸施策を推進するため、平成27年度に次期男女共同参画計画を策定

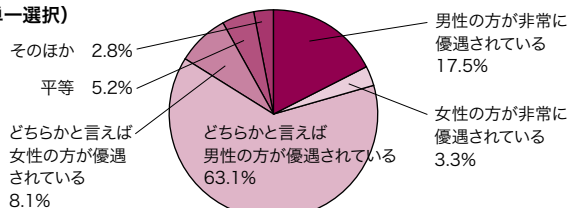
します。広く皆さんの意見を取り入れるため、市民意識調査などを行っていく予定ですので、ご協力をお願いします。

※アンケート調査の結果や第2次男女共同参画計画は、企画政策課ホームページ(<http://www.city.narita.chiba.jp/sisei/sosiki/kikaku/index0003.html>)で見ることができます。くわしくは同課(☎20-1500)へ。

問. 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか(単一選択)



問. 社会全体で見た場合、男女の地位は平等になっていると思いますか(単一選択)



消費生活相談

Q&A

「ボタン電池」などの誤飲事故にご注意を

Q 2歳の息子がおもちゃで遊んでいたところ、ちょっと目を離した際に、おもちゃの中に入っていたボタン電池を口に含んでいました。すぐに吐き出させて診察を受け、大事には至りませんでした。今後は子どもの身の回りの物に注意しようと思いますが、誤飲事故が多いのはどのような物でしょうか。

A 最近、子どもが身の回りにある物を誤って飲み込んでしまう事故が増えています。ボタン電池のほかに、たばこの吸殻やカプセル型の洗剤、色・形・香りが食べ物のような入浴剤なども誤飲事故が多く、注意が必要です。

中でもボタン電池は、リモコン、キッチンタイマー、体温計、おもちゃなど身の回りのさまざまな物に使用されています。ボタン電池を飲んでしまうと、放電で起こる化学やけどによって消化管に穴が開いたり、潰瘍ができたりするなど、重大な健康被害を及ぼす場合があります。

事故を防ぐために、誤飲しやすい物は、子どもの手の届かない場所に保管し、使用中も子どもから目を離さないようにしましょう。また、子どもは大人に比べ目線が低いので、床に落ちている物を見つけて口に入れる可能性もあります。日ごろから部屋を整理整頓し、子どもの目線で室内の状況を確認しましょう。

そして、万が一子どもが物を誤飲した場合は、すぐに医師の診察を受けましょう。

※くわしくは消費生活センター(☎23-1161)へ。